



## 沖縄県入院患者リハビリテーション事業が始まりました

今年9月から、標記の事業がスタートしました。

「精神疾患で入院している精神障害者を一定期間事業所に通わせ、院外での活動を通し、退院後の生活および日中活動を行うイメージの育成や、退院後の環境変化への不安の緩和等を図り、もって精神障害者の社会復帰、社会的自立を促進することを目的」として、沖縄県が実施する事業です。

今年度は、公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会(略称:沖福連)が、県から事業委託を受けて実施しています。

### (1)この事業の協力事業所とは？

精神障害者に対する理解が深く、精神障害者に仕事の場や活動の場を提供し、その社会的自立を促進することに熱意を有する事業所

### (2)この事業の利用対象者とは？

精神疾患の症状が安定しており、地域の支援等を活用すれば退院可能と主治医が見込む入院中の方で、次のいずれにも該当するものとする。

- ① 退院を希望する者
- ② 緊急の際の連絡先が確保できる者
- ③ 沖縄県内に住所を有する者又は入院する直前までに沖縄県内に住所を有していた者

### (3)事業所報酬及び利用者手当

協力事業所に1日当たり1,600円、利用者手当1日当たり450円を支払う。  
利用日数は、1ヵ月4回を限度とする。

### (4)入院患者リハビリテーションを希望する者は、主治医の意見書を添えて、沖福連に申し込み手続きをするものとする。

※ なお、詳細は、沖福連に連絡をしてくだされれば、相談員がお伺いして、説明しますので、よろしくお願いたします。

### 【申込先】

公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会

〒901-1104 南風原町字宮平 206-1

TEL:098-889-4011 FAX:098-888-5655

※最寄りのバス停<<宮平、南部保健所前>>

沖縄バス:百名線(39)、つきしろの街線(40)

東陽バス:泡瀬東線(30)、志喜屋線(38)

城間線(91)

## 「全国家族大会 i n岡山」に参加して

金武町精神療養者家族会 我喜屋 宗一

沖縄から山田会長、他八名で参加した。大会前日、那覇空港から出発、午後一時半ごろ神戸空港に着き、レンタカーで岡山市内に入り岩田町で大和診療所の医師、藤田大輔氏にお会いして、施設を見学させて頂き、そして座談形式で「アクト」についてお話しを伺った。その内容に驚きとともに感動した。

その後、近くの居酒屋に先生も一緒にみんなで楽しい時間を過ごした。翌朝、宿泊しているホテルで朝食を済ませ会場に向かった。大会開始時間までだいぶ余裕があったので「美観地区」と呼ばれる城下町をぶらぶら散歩、熟練のガイドさんの案内を聞きながら町並み、川の流れの美しさと雰囲気を楽しみながら会場の倉敷市芸文館に着いた。参加者で混み合う中、受付を済ませ席に着いた。大会が始まり岡山県知事、他関係者の歓迎のあいさつがあり、続いて基調講演などがあり昼食の時間になった。

午後は記念講演もあり、一日目は終了。戻る途中、美観地区内にある高級風居酒屋で岡山のお酒とおいしいつまみやお食事を味わいながら更に我等メンバーの親睦を深める事が出来た。

大会二日目は六つの分科会に分かれての勉強会である。私が選んだのは第五分科会で、「やはり、親亡き後の事が心配です」のタイトルにひかれてしまった。私には、病気の妻と息子が三人います。次男、三男は障がいがありますがみんなで「アグー豚の牧場」をやっています。これからの私の生き方の参考に大変よかったですと思います。私にとって、この三日間は心の洗濯と明日への活力に繋がります。本当に有り難うございました。



## 増川ねてる氏の研修案内

### 平成29年度 ピアサポーター養成研修 ～ピアサポートが生み出すリカバリー～



《増川ねてる》

講師紹介：NPO 法人東京ソテリアピアサポーター

WRAP ファシリテーター、全国各地でWRAP ワークショップを実施。]

「誰でも、何処からでもリカバリーできる世の中を」と、リカバリーの講演や執筆活動などを行っている。著書には「WRAP を始める！ー精神科看護師とのWRAP 入門【リカバリーのキーコンセプトと元気に役立つ道具箱編】」

(本島) 平成29年11月20日(月) 10:30~16:00 (受付10:00)

場所：南風原町中央公民館 黄金ホール

(八重山) 平成29年11月21日(火) 10:30~16:00 (受付10:00)

場所：石垣青少年の家 大研修室

(宮古) 平成29年12月5日(火) 10:30~16:00 (受付10:00)

場所：宮古合同庁舎2階講堂

参加申込：mail：[tunaguot@gmail.com](mailto:tunaguot@gmail.com) FAX：098-988-3712

問合せ：098-988-3711 (沖縄県作業療法士会事務局) ※申込〆切 11/10(金)

主催：沖縄県 (一社) 沖縄県作業療法士会

## きらりの集い in 沖縄 2018 資金造成チャリティ勉強会 VOL.2 体験版 WRAP ワークショップ

《WRAP (元気回復行動プラン)》

元気であるために、そして気分がすぐれない時に元気になるために、また自分の責任をもって生活の主導権を握り、みずから望むような人生を送るために、あなた自身でデザインするプランがWRAPです。

日時：平成29年11月20日(月) 19:00~21:00 (18:30open)

場所：天久台病院 本館 大研修室 ファシリテーター：増川ねてる

対象：興味のある方なら誰でもOK (医療・福祉関係者・当事者など)

参加費：1,500円 ※参加費のすべて、「きらりの集い in 沖縄 2018」開催にあたり、当事者など、より多くの方が参加できるための資金として活用します

申込・問合せ：Mail：[kirariokinawaproject@gmail.com](mailto:kirariokinawaproject@gmail.com)

FAX：098-923-0569 TEL:[098-923-0697](tel:098-923-0697) (コミュっと!坂本)

主催：Team きらり okinawa 後援：沖縄精神科作業療法士研究会

## リハビリ全国フォーラム2017に参加して

(8月25日、26日 東京、平成帝京大学にて)

体調の悪い中での参加でした。おかげで1日目2日目と、ろくに参加できず、会場周辺の公園に行ったりしました。私はヘビースモーカーなので喫煙所がないことにはかなり苦労しました。

1日目に行われたトークライブでは20名ほどの当事者の方々が、2分間の時間制限付きで、自分の思いのたけをみんなの前で話すというもので、若い方が多く登壇していたので、ずいぶん楽しませていただきました。

8月25日分科会1(イタリアからの声を聴いて:ボローニャの友だち)では、イタリアの精神科医やアーティストなどが出演していましたが、当事者の方は居らず、私にとっては同じテーブルの方々との交流がよかった。

8月26日分科会18(精神科医療の長期入院を斬る!)では、ACTの活動報告がありました。次のある医師の言葉が印象に残っています。

①精神科医なんかいない。マニュアル通りに病名をつけ、製薬会社の言うとおりに薬を出している。②病院も悪いが厚生労相が1番悪い。③「服薬管理」に関しては、主治医の言う通り毎日きちんと薬を飲むことは、本当の意味での服薬管理ではない。④自分が毎日飲んでいる薬がどのようなものであるか、自分で調べ、主治医に意見を言い、薬の変更や減薬・中止などを試みる。これが本当の服薬管理である。⑤薬によって体がガタガタになっていることに気づかない人が多い。

★ 製薬会社としてはより高価な薬、より多くの薬、できればいけない薬でも売りたいと思うのが、この資本主義社会では仕方のないことだ。(私の意見)

大会は1500人の参加があり、特に当事者の参加が多かった。

《寄稿：松村 豊》

### ◎編集後記◎

11月になり、台風が過ぎ去った後から秋の訪れが感じられるようになりました。季節の変わり目で冷え込み、体調を崩す方も多いでしょうが、皆様お身体をご自愛ください。(K・O)

編集：公益社団法人  
沖縄県精神保健福祉会連合会  
会長 山田 圭吾  
〒901-1104  
沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1  
てるしのワークセンター内  
電話 098-889-4011 FAX098-888-5655  
E-mail [terushino@otc.ne.jp](mailto:terushino@otc.ne.jp)  
発行：九州障害者定期刊行物協会  
〒812-0024 福岡市博多区綱場町 1-17  
福岡パーキングビル 4階  
電話 092-753-9722 FAX092-753-9723  
定価：10円(会費に含まれる)